



国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

お知らせ

記者発表資料	平成25年 4月15日
配布日	

資料提供先：岡山県政記者会
岡山市記者クラブ

平成24年度第2回「かわまちづくり」計画の登録について
(全国10箇所、岡山県1箇所)

「旭川かわまちづくり」計画の登録書伝達式を行います。

国土交通省水管理・国土保全局では、地域の景観、歴史、文化等を活かし、地方公共団体や地域住民との連携の下で、河川空間とまち空間の融合が図られた良好な河川空間形成を目指す取り組みである「かわまちづくり」を、治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備等を通じて支援する「かわまちづくり」支援制度を、平成21年度から運用しています。

このたび、岡山市より申請のありました「旭川かわまちづくり」計画が、平成25年3月29日付けで登録されましたので、下記のとおり登録書伝達式を行います。

記

伝達式日時、場所、出席者：別紙のとおり

「旭川かわまちづくり」計画の概要

旭川の堤防沿いは花見の時期には毎年10万人前後が訪れる、中国地方有数の桜の名所となっている。「旭川かわまちづくり」計画は、地域資産である桜並木を保全するとともに、歩行環境の改善を図るため、修景護岸及び歩行空間の整備を行うものである。

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所

電話 086-223-5187 (調査設計課)

【担当】

副所長(調査) 川島 明昌(かわしま あきまさ)(内線205)
調査設計課長 清水 信夫(しみず のぶお)(内線351)

伝達式実施日時、場所、出席者

日 時 : 平成25年 4月17日(水) 10時30分から

場 所 : 岡山市北区大供一丁目1番1号

岡山市役所 本庁舎3階 第3会議室

出席者 : 岡山市長 高谷 茂男 (たかや しげお)

岡山河川事務所長 植田 彰 (うえだ あきら)

岡山県土木部都市局長 江原 章 (えばら あきら)

旭川かわまちづくり計画検討会議

会長 野田 好信 (のだ よしのぶ) 他

「旭川かわまちづくり」(国、岡山市)

市町村名： 岡山県岡山市
 対象河川： 旭川水系旭川

1. 概要

岡山市では、「岡山市都市ビジョン」において、「水と緑が魅せる心豊かな庭園都市」を20年後の将来像として位置付けている。岡山駅から徒歩圏に位置し、日本三名園の後楽園や岡山城、旭川を中心とする「岡山カルチャーゾーン」では、水と緑の都心回廊づくりや身近な水辺空間の整備を推進することで中心市街地の活性化を目指している。

また、旭川の堤防沿いは花見の時期には毎年10万人前後が訪れる、中国地方有数の桜の名所となっている。近年は老木化が進んでおり、地元を中心とした「旭川さくらみちの桜を守る会」が設立され、募金による延命治療等が行われているが、抜本的には計画的な植替えが必要であり、現在の堤防構造では植樹基準に適合しない状況が問題となっている。

そこで、地域資産である桜並木を保全するとともに、歩行環境の改善を図るため、修景護岸及び歩行空間の整備を行うものである。

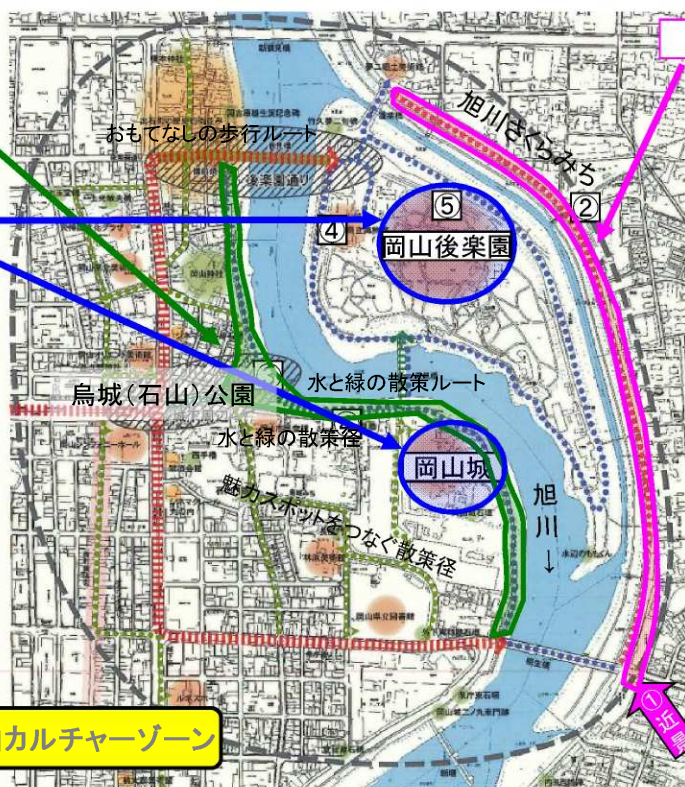
2. 整備内容

国：護岸整備
 市：歩行空間整備、烏城(石山)公園リニューアル整備、コミュニティサイクルポート設置



旭川右岸 城下地区
 ソフト：
 オープンカフェほか
 ハード：
 烏城(石山)公園リ
 ニューアル整備(市)

岡山後楽園・岡山城
 ソフト：
 幻想庭園ほか
 ハード：
 コミュニティサイク
 ルポート設置(市)



②護岸・歩行空間整備



旭川左岸 古京地区
 ソフト：さくらカーニバル
 ほか
 ハード：護岸整備(国)
 歩行空間整備(市)

岡山カルチャーゾーン

○「かわまちづくり」計画の登録申請箇所一覧（新規10箇所）

都道府県名	市町村名	水系名	河川名	箇所名	事業主体	事業の概要
やまなしけん 山梨県	ふじかわ ちょう 富士川町	ふじかわ 富士川	ふじかわ 富士川	ふじかわ ちょう 富士川町かわ まちづくり	国土交通省 富士川町	富士川町の第1次富士川町総合計画では、魅力を高める地域整備の推進を掲げ「水辺空間活用の推進」を位置づけている。また、増穂町と鵜沢町の合併以前からも、富士川の自然を活かした水辺にふれあう自然観察やレクリエーション等を楽しむコミュニケーション空間として、水辺プラザ整備を行ってきた。 現在、当該地域周辺では中部横断自動車道の建設が進み、IC及びPAや道の駅の整備による交通や物流に大きな変化が見込まれ、富士川の良い水辺空間がより重要性を増すとともに、舟運の復活など水辺利用の広がりが期待される。 そこで、新たな交流拠点整備に併せ、町名にも由来した富士川の水辺整備とまちづくりとを一体的に行うことにより、良好な水辺空間を形成するとともに地域活性化を図る。
いばらきけん 茨城県	しろさとまち 城里町	なかがわ 那珂川	なかがわ 那珂川	かつら ちく 地区かわ まちづくり	国土交通省 城里町	城里町かつら地区は、那珂川の河川空間、御前山を擁し、「関東の嵐山」と称されるなど景観に恵まれており、自然体験（カヌー、キャンプ、ハイキング等）や水辺でのイベントが盛んである。また、当該地区に隣接する道の駅では、地域の農産物販売等で賑わっている。 城里町の「第1次城里町総合計画（後期計画）」では、これらの優れたポテンシャルを活かしたまちづくりを推進することとしており、那珂川の良い水辺空間を形成するとともに、既存の地域資源である道の駅、御前山等の相乗効果により地域活性化を図る。
おおさかふ 大阪府	やおし 八尾市	やまとがわ 大和川	やまとがわ 大和川	わかばやしちく お 若林地区・太 おたち ちく 田地区かわま ちづくり	国土交通省 八尾市	八尾市の南側を流下する大和川は、かつては舟運など地域の発展と密接な関係にあったが、高度経済成長期には全国ワースト1になるほど水質が悪化した。その後、清流ルネッサンス等の取組により平成20年以降は環境基準である3mg/Lを達成するまでになっており、天然アユの遡上がみられるなど自然環境も回復しつつあるところである。 このような中で、河川空間利用の市民ニーズが非常に高まってきており、八尾市第5次総合計画「やお総合計画2020」では、「水辺環境と緑を活かしたうおいのまちづくり」として、自然環境に配慮した親水施設の整備を行うことが位置付けられている。 そこで、既存の大和川河川敷公園及び現在整備中の河川防災ステーションと連携した、水辺とふれあえる空間整備を行うことにより、日常的なレクリエーションや環境教育、防災学習、非常時の水防活動等の利用を行うことで、大和川における総合的な活動拠点とするものである。
おかやまけん 岡山県	おかやま 岡山市	あさひがわ 旭川	あさひがわ 旭川	あさひがわ 旭川かわまち づくり	国土交通省 岡山市	岡山市では、「岡山市都市ビジョン」において、「水と緑が魅せる心豊かな庭園都市」を20年後の将来像として位置付けている。岡山駅から徒歩圏に位置し、日本三名園の後楽園や岡山城、旭川を中心とする「岡山カルチャーゾーン」では、水と緑の都心回廊づくりや身近な水辺空間の整備を推進することとで中心市街地の活性化を目指している。 また、旭川の堤防沿いは花見の時期には毎年10万人前後が訪れる、中国地方有数の桜の名所となっている。近年は老木化が進んでおり、地元を中心とした「旭川さくらみちの桜を守る会」が設立され、募金による延命治療等が行われているが、抜本的には計画的な植替えが必要であり、現在の堤防構造では植樹基準に適合しない状況が問題となっている。 そこで、地域資産である桜並木を保全するとともに、歩行環境の改善を図るため、修景護岸及び歩行空間の整備を行うものである。
くまもとけん 熊本県	くまもと 熊本市	しらかわ 白川	しらかわ 白川	くまもとえんげうへん 熊本駅周辺か まちづくり	国土交通省 熊本市	熊本市では、総合計画等において、白川を「水辺景観形成軸」として位置付け、「水・緑・歴史と出会う場」の形成を進めている。 また、平成23年3月に九州新幹線が開業するとともに、平成23年4月に政令指定都市に移行し、それらと合わせて熊本駅を中心に熊本市の玄関口都市の顔づくりを推進している。 そこで、熊本駅周辺の市街地整備や既存の歴史資源と調和した水辺整備を行うことにより、魅力ある水辺・まち空間を形成するとともに、観光振興への寄与を図る。

都道府県名	市町村名	水系名	河川名	箇所名	事業主体	事業の概要
くまもとけん 熊本県	たまなし 玉名市	きくちがわ 菊池川	きくちがわ 菊池川	たかせちく 高瀬地区かわ まちづくり	国土交通省 玉名市	玉名市では、総合計画等において観光振興を掲げ、菊池川沿いにある裏川水際緑地への観光客誘致や、歴史・自然等を活用した観光ツーリズムに取り組むこととしている。 また、裏川水際緑地を含む高瀬地区では、点在する歴史資源を市民が親しみ誇りの持てる場として、景観に優れたうおいのある空間の創出や案内機能の充実などにより、活力とにぎわいのあるまちづくりを進めていくこととしている。 そこで、高瀬裏川の整備や既存の歴史資源を活かし、それぞれをつなげる水辺整備を行うことにより、魅力ある水辺・まち空間を形成するとともに、観光振興への寄与を図る。
みやぎけん 宮崎県	のべおかし 延岡市	ごかせがわ 五ヶ瀬川	ごかせがわ 五ヶ瀬川 おおせがわ 大瀬川	ごかせがわ 五ヶ瀬川かわ まちづくり	国土交通省 延岡市	延岡市では、総合計画等において、人と物が活発に行き交う交流拠点づくり・多彩な産業が織り成す活力のある都市づくりを進めている。 また、競技スポーツの振興に努めながら市民と一体となったアスリートタウンづくりに取り組むとともに歴史遺産や鮎やな等の歴史や文化、観光資源等を活用した観光客の誘致を推進している。 そこで、鮎やなや関連施設と連携した水辺空間やスポーツやイベント等の活動拠点を整備することにより、魅力ある水辺・まち空間を形成するとともに、市民の健康増進や観光振興への寄与を図る。
さがけん 佐賀県	さがし 佐賀市	かせがわ 嘉瀬川	かせがわ 嘉瀬川	ほいちく 尼寺地区かわ まちづくり	国土交通省 佐賀市	佐賀市では、総合計画等において、自然と調和した個性的な美しいまちづくりを基本構想として、嘉瀬川等の自然環境との調和に配慮したまちづくりを進めていくこととしている。 また、尼寺地区周辺では、嘉瀬川を軸にした多数のイベント等が開催されており、さらに歴史的土木構造物である石井樋や地域の風物詩である川上峡のこいのぼりの吹き流しなど、景観保全と環境・観光面の交流、周辺景観と調和した親水性のある身近な水辺空間のネットワーク化を推進している。 そこで、既存の歴史・観光資源を活かし、それぞれをつなげる水辺整備を行うことにより、魅力ある水辺・まち空間を形成するとともに、観光振興への寄与を図る。
さがけん 佐賀県	いまりし 伊万里市	まつうらがわ 松浦川	まつうらがわ 松浦川	こまなちく 駒鳴地区かわ まちづくり	国土交通省 伊万里市	伊万里市では、総合計画等において、固有の歴史や豊かな自然と調和した都市景観の形成を推進することとしている。 駒鳴地区においては、捷水路の整備により旧川となった区間があり、旧川は捷水路の整備前と比べ流れが遅くなり、土砂の堆積や水質の悪化といった河川環境への影響が懸念されている。 そこで平常時においても、ある程度の流れを確保することで豊かな河川環境を保持し、また、水辺に近づきふれあうことができるよう低水路を複断面形状とし、さらに河川管理や住民の散策がしやすくなるよう管理用通路を整備することで周遊出来るようにする。 このことにより、魅力ある水辺空間を形成するとともに、ホテルなどが生息する豊かな河川環境を活用したふれあい体験観光などを実施することで、観光振興への寄与を図る。
ながさきけん 長崎県	いさはやし 諫早市	ほんみょうがわ 本明川	ほんみょうがわ 本明川	てんまんえいしよちく 天満・永昌地 区かわまちづ くり	国土交通省 諫早市	諫早市では、九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）の開業に向け、諫早駅周辺地区の整備構想等を策定しており、その中で諫早市のシンボルとなっている本明川の自然環境や景観を保全・創出するとともに、本明川を自然や四季を感じる空間として位置付け、「まちなかにある諫早固有の自然や、「諫早万灯川まつり」や「本明川魚つかみ取り大会」等の地域のイベント・祭りといった「諫早らしさ」を引き出すような施設整備や都市景観の創出を図ることにより、「生活するひと」や「訪れるひと」が「ほっ」と癒される空間の形成を進めている。 そこで、駅周辺整備や都市再生整備等と合わせ、諫早市のシンボルとなっている本明川の自然環境や景観を保全・創出する水辺整備を行うことにより、本明川を自然や四季を感じる空間として魅力ある水辺・まち空間を形成するとともに、観光振興への寄与を図る。

かわまちづくり支援制度

～良好なまち空間と水辺空間の形成～

観光などの活性化に繋がる景観・歴史・文化等の河川が有する地域の魅力という「資源」や地域の創意としての「知恵」を活かし、地方公共団体や地元住民との連携の下で立案された、実現性の高い河川や水辺の整備・利活用計画による、良好なまちと水辺が融合した空間形成の円滑な推進を図ります。

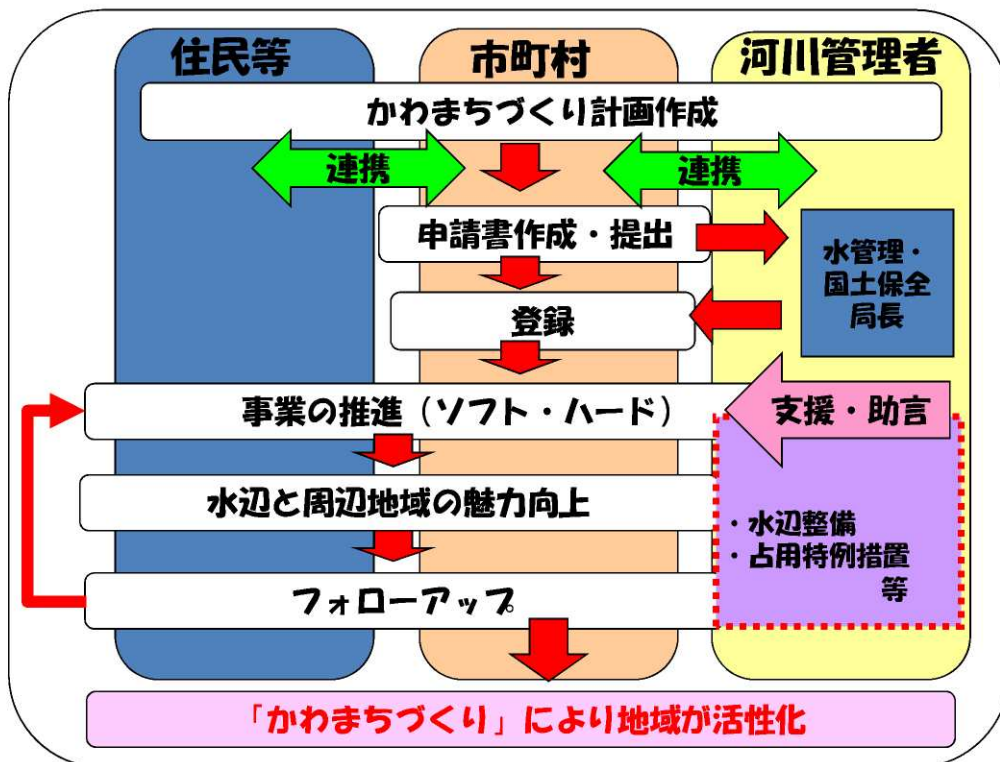
○事業概要

ソフト支援：民間事業者による河川敷のイベント広場やオープンカフェ等への利用制度（都市及び地域の再生等のために利用する施設に係る占用の特例）等を活用、河川管理者として「地域づくりのためのフォローアップ」を積極的に支援。

ハード支援：治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援。



管理用道路をフットパスとして活用（最上川）



図：かわまちづくりの流れ